

**DVD / VIDEO CD / CDプレーヤー**

DVD / VIDEO CD / CD PLAYER

**DV-SL100****取扱説明書**

ヤマハDVD / VIDEO CD / CDプレーヤー DV-SL100をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

**保証書別添付**

# 安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

## 絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。  
たとえば▲は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。  
たとえばⓧは「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。  
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



下記の場合には、**すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

- 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

**電源コードを傷つけない。**

- 重いものを上に載せない。 ● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

**本機を下記の場所には設置しない。**

- 浴室・台所・海岸・水辺 ● 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

**雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。**

感電の原因となります。



分解禁止

**分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。**

火災や感電の原因となります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

**放熱のため本機を設置する際には：**

- 布やテーブルクロスをかけない。 ● じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
  - あおむけや横倒しには設置しない。 ● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (少なくとも本機の左右、上、背面各2.5cm以上離して設置してください。)

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

### 電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



禁止

### 電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



必ず行う

### 本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

### 必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

### 電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



手を挟まれない  
よう注意

### ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因となることがあります。



禁止

### 本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

**不安定な場所や振動する場所には設置しない。**

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

**直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。**

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

**再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。**

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

**長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

火災や感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**

感電の原因となることがあります。



禁止

**電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。**

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

**移動をするときには本機(または接続器機)の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。**

- 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

**長時間音が歪んだ状態で使用しない。**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

**大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。**

聴力障害の原因となることがあります。


**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

**電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。**

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

**指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。**

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

**電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。**

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

**電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。**

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

**ほこりや湿気の多い場所に設置しない。**

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

**手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。**

感電の原因となることがあります。



注意

**本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。**

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



必ず行う

**電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。**

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

**電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。**

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。**

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

**環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。**

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

**薬物厳禁**

**ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。**

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

**年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。**

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

**レーザー光源をのぞき込まない。**

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが容易に手が届く状態で御使用下さい。

- デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

### 音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

<b>はじめに</b>	<b>8</b>
付属品 .....	8
再生できるディスク .....	8
DVD ビデオのリージョンコードについて .....	8
ディスクのお取扱いについて .....	8

<b>各部の名称とはたらき</b>	<b>9</b>
フロントパネル(本体前面) .....	9
リモコン .....	10

<b>準備する</b>	<b>11</b>
接続について .....	11
デジタル入力のある機器との接続 .....	11
アナログ入力のある機器との接続 .....	11
映像端子の接続 .....	11
映像端子 <A> .....	12
S 映像(S1/S2)端子 <B> .....	12
コンポーネント映像出力端子 <C> .....	12
リモコンに電池を入れる .....	12
リモコンを使う .....	12
電源を入れる .....	12
オートスタンバイ機能 .....	12

<b>再生する</b>	<b>13</b>
基本の操作 .....	13
よく使う機能 .....	13
再生の停止 .....	13
一時停止とコマ送り .....	13
頭出し(スキップ) .....	13
早送り/早戻し .....	13
スロー再生 .....	13
一時的に音を消す .....	13
繰り返し(リピート)/順不同(シャッフル)再生 .....	14
A-B リピート .....	14
ディスクリジューム機能 .....	14
OSD 情報の画面表示 .....	14
ズーム .....	14
DVD を楽しみましょう .....	15
ディスクメニューの操作 .....	15
アングルの選択 .....	15
音声言語/フォーマットの選択 .....	15
字幕の選択 .....	15
ビデオ CD、スーパービデオ CD を楽しみましょう .....	15
プレイバックコントロールの操作 .....	15
音声チャンネルの切り替え .....	15
プレビュー機能 .....	16

<b>画像や MP3 ファイルを再生する</b>	<b>17</b>
基本の操作 .....	17
MP3&JPEG ナビゲーター .....	17
再生モード .....	17
JPEG の再生 .....	18
プレビュー機能 .....	18
画像のズーム .....	18
画像の回転 .....	18
画像の切り替え効果 .....	18
JPEG と MP3 の同時再生 .....	18

<b>セットアップメニュー</b>	<b>19</b>
設定のしかた .....	19
一般設定メニュー .....	19
ディスクロック .....	19
プログラム(JPEG / MP3 CD を除く) .....	19
OSD 言語 .....	20
スクリーンセーバー .....	20
オーディオ設定メニュー .....	20
アナログオーディオ設定 .....	20
デジタルオーディオ設定 .....	21
イコライザ(サウンドモード) .....	21
3D 処理(リバースモード) .....	21
映像設定メニュー .....	22
TV タイプ .....	22
TV ディスプレイ .....	22
S1/S2 選択 .....	22
クローズドキャプション .....	23
プログレッシブ .....	23
画質設定 .....	23
パスワード設定メニュー .....	24
環境設定メニュー .....	24
音声言語設定 .....	24
字幕言語設定 .....	24
メニュー言語設定 .....	25
視聴制限 .....	25
デフォルト .....	25
MP3/JPEG ナビ .....	25

<b>故障かな?と思ったら</b>	<b>26</b>
-------------------	-----------

<b>主な仕様</b>	<b>27</b>
-------------	-----------

<b>言語コード一覧</b>	<b>28</b>
----------------	-----------

<b>ヤマハホットライン サービスネットワーク</b>	
---------------------------------	--

# はじめに

## 付属品

すべてそろっているかご確認ください。

- リモコン
- 単3乾電池(2本)
- 音声/映像ピンクケーブル

## 再生できるディスク

本機はディスクのレーベル面に下記のロゴマークがついているディスク(規格に合致しているもの)を再生できます。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。



本書内では、下記のマークを使用しています。

DVDビデオ	ビデオCD	スーパービデオCD	音楽CD

### ご注意

- ・ 本機は下記のディスクを再生できません。  
フォトCD、CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM、CDV、CD規格外ディスクなど。
- ・ 記録状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。レコーダーで記録する際は信頼できるメーカーのディスクを使用してください。
- ・ DVD-RWは、ビデオフォーマットで録画された場合のみ再生できます。
- ・ CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+Rはファイナライズされたディスクのみ再生できます。
- ・ ハート型など特殊形状のディスクは使用しないでください。
- ・ DVDビデオ、ビデオCDの中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

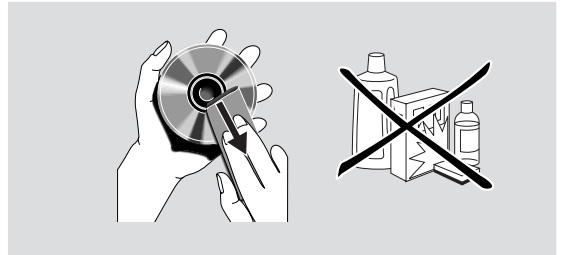
## DVDビデオのリージョンコードについて

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクにはリージョンコード(発売地域ごとに割り当てられた識別番号)が決められています。本機では下表のディスクが再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 またはリージョンコード2 も含むリージョンのディスク

## ディスクのお取扱いについて

ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ拭いてください。その際、レコードクリーナーやシンナーなどを使わないでください。



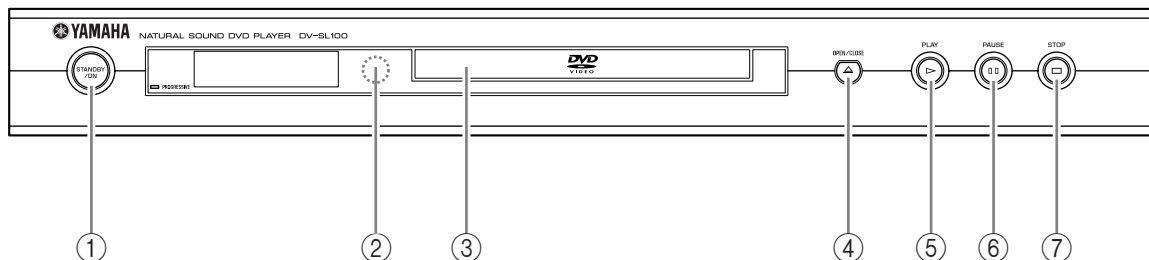
ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。「ドルビー」及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS および DTS Digital Out はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。



## フロントパネル（本体前面）



① **STANDBY/ON キー**

本機の電源の入／待機(スタンバイ)を切り替えます。  
スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。

② **リモコンセンサー**

リモコンからの信号を受信します。

③ **ディスクトレイ**

再生するディスクをセットします。

④ **OPEN/CLOSE ▲ キー**

トレイを開閉します。

⑤ **PLAY ▶ キー**

ディスクを再生します。

⑥ **PAUSE || キー**

再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと次のフレームにコマ送りします。  
通常の再生に戻るには PLAY キーを押します。

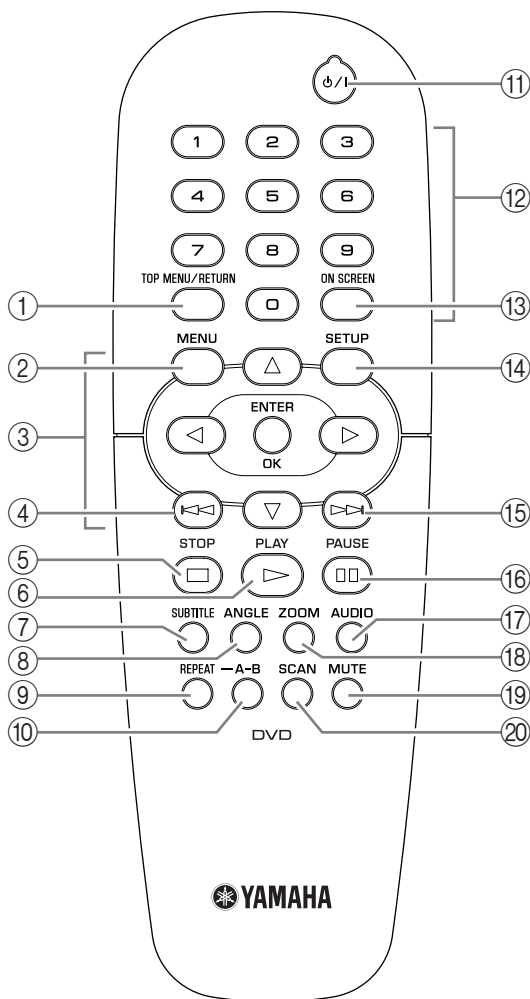
⑦ **STOP ■ キー**

再生を停止します。

リアパネル(本体背面)については 11、12 ページをご覧ください。

# 各部の名称とはたらき

## リモコン



- ① **TOP MENU/RETURN キー**  
ディスクの最初のメニュー画面を表示します。(DVD)  
前のメニュー画面に戻ります。(VCD)
- ② **MENU キー**  
ディスクのメニュー画面を表示します。(DVD)  
プレイバックコントロールを入/切します。(VCD)
- ③ **◀▶▲▼、ENTER/OK キー**  
設定などの項目を選択、変更します。
- ④ **◀◀ キー**  
再生中のチャプターまたはトラックを頭出しします。  
2 秒以上押しつづけると早戻しします。
- ⑤ **■ STOP キー**  
再生を停止します。
- ⑥ **▶▶ PLAY キー**  
ディスクを再生します。
- ⑦ **SUBTITLE キー**  
DVD の字幕言語を切り替えます。
- ⑧ **ANGLE キー**  
マルチアングル(複数の角度から映像を収録)の DVD  
再生時にアングルを切り替えます。
- ⑨ **REPEAT キー**  
チャプター、トラック、ディスク全体などのリピート(繰  
り返し)と、シャッフル(ランダム再生)を切り替えます。
- ⑩ **A-B キー**  
見たい箇所を A-B で指定して、繰り返し再生(A-B リ  
ピート)します。
- ⑪ **⏻ / ⏿ キー**  
本機の電源の入/待機(スタンバイ)を切り替えます。
- ⑫ **数字キー**  
メニュー画面などで数字を入力します。
- ⑬ **ON SCREEN キー**  
本機のオンスクリーン情報の表示を入/切します。
- ⑭ **SETUP キー**  
SETUP メニューの表示を入/切します。
- ⑮ **▶▶▶▶ キー**  
次のチャプターまたはトラックを頭出しします。2 秒以  
上押しつづけると早送り再生します。
- ⑯ **⏸ PAUSE キー**  
再生を一時停止します。もう一度押すと次のフレームに  
コマ送りします。  
通常の再生に戻るには PLAY キーを押します。
- ⑰ **AUDIO キー**  
音声言語やフォーマットを切り替えます。
- ⑱ **ZOOM キー**  
映像を拡大します。
- ⑲ **MUTE キー**  
音声を一時的に消します。
- ⑳ **SCAN キー**  
各トラックやディスクの内容を一覧表示します。(VCD)  
各トラックの始めの 6 秒程度を再生します。(CD)

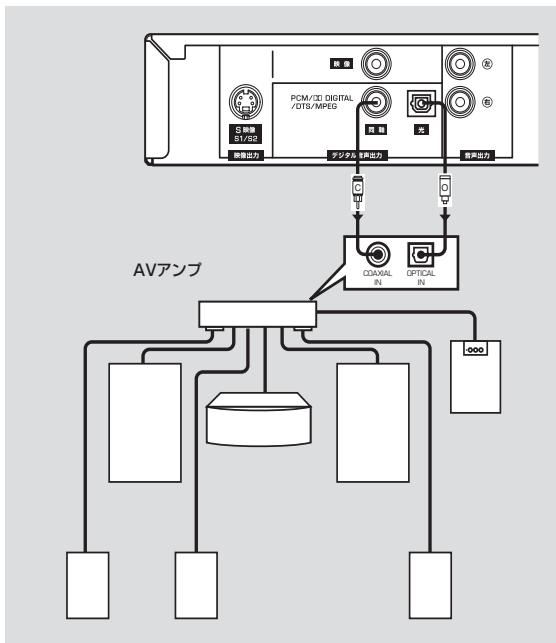
## 接続について

接続のまえに、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

- ご使用になる機器によっていろいろな接続方法がありますが、ここではアンプを使用した代表的な例を紹介します。
- 接続する機器の取扱説明書もご参照ください。
- 本機をビデオデッキを通してテレビに接続しないでください。コピーガード機能の影響で正常に再生できないことがあります。

## デジタル入力のある機器との接続

ドルビーデジタル／DTS のマルチチャンネル再生を楽しむには、本機の同軸または光デジタル音声出力端子と、市販のケーブルを使って、ドルビーデジタル／DTS デコーダー搭載の AV アンプに接続します。



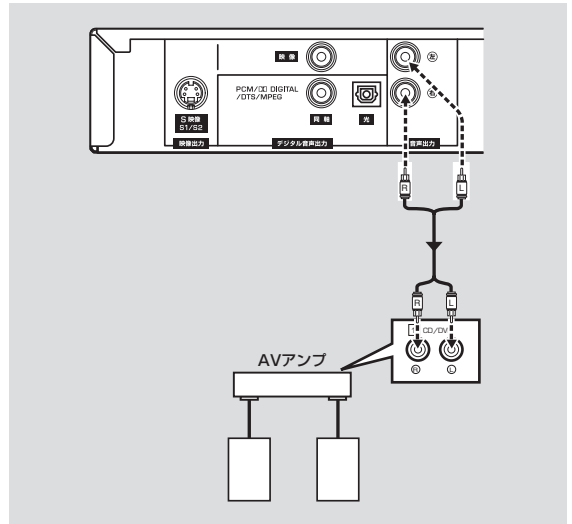
### ご注意

- AV アンプ側が対応していないデジタル音声フォーマットを出力すると、強いノイズを発生したり音が出ないことがあります。このようなときはディスクのメニュー画面から適当な音声フォーマットを選択してください。また、AUDIO キーを繰り返し押ししても、ディスクに収録されている音声言語や音声フォーマットが切り替わります。

## アナログ入力のある機器との接続

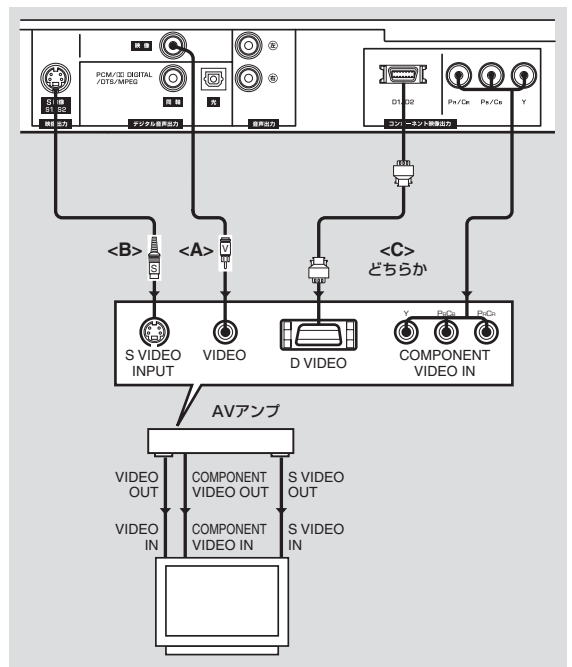
付属の音声／映像ピンケーブルを使って本機と AV アンプの 2CH 入力などを接続します。

テレビの音声入力端子に接続することもできます。



## 映像端子の接続

下図 <A>、<B>、<C> いずれかの接続をしてください。本機の映像出力端子を直接テレビに接続する方法と、AV アンプを通してテレビに接続する方法があります。AV アンプを通すことで、アンプの入力選択だけで再生する音声と映像を同時に切り替えることができます。



# 準備する

## 映像端子 <A>

一般的な映像信号(コンポジット)を出力します。付属のケーブルを使用して接続します。

## S 映像(S1/S2)端子 <B>

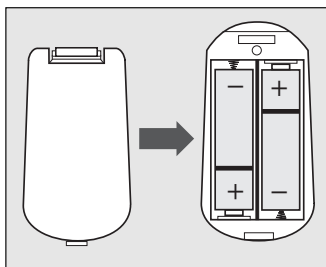
色と輝度を分けて伝送し、一般的な映像信号(コンポジット)より美しい映像を再生します。市販のSビデオケーブルを使ってSビデオ入力端子(S VIDEO)に接続してください。またこの端子はS1/S2機能に対応しております。ご使用になるテレビのSビデオ入力端子にあわせて映像設定メニューの「S1/S2 選択」設定(22 ページ)を変更して下さい。

## コンポーネント映像出力端子 <C>

色差信号2種類と輝度を分けて伝送し、Sビデオよりさらに美しい映像を再生します。また、プログレッシブ信号を出力できるので、プログレッシブ対応のテレビを使用するとさらに高画質が楽しめます。D1/D2ビデオ端子とPr/Cr、Pb/Cb、Y端子の2種類の接続方法があります。市販のケーブルを使って接続してください。

## リモコンに電池を入れる

- 1 裏フタのタブを押さえながらカバーを開きます。
- 2 +と-の向きを確認して電池を入れます。
- 3 フタを閉めます。



### ご注意

- ・ 液漏れを防ぐために、消耗した電池は早めに交換してください。また長時間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは電池を取り出してください。
- ・ 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して破棄してください。液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- ・ 新しい電池と、一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。種類の異なる電池(アルカリとマンガンなど)を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- ・ 電池を廃却する際は、各地自治団体の条例に従って処理してください。

## リモコンを使う

- 本機のセンサーに向けて使用してください。
- 落としたりショックを与えたりしないでください。
- 高温多湿の状態でも長時間保管しないでください。
- 水などをこぼさないようにしてください。

## 電源を入れる

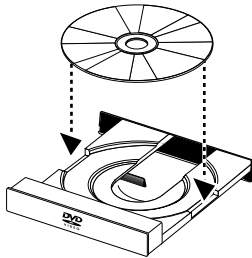
- 1 電源コードをコンセントに接続します。
- 2 テレビとAVアンプの電源を入れます。
- 3 AVアンプで正しい入力を選びます。AVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- 4 STANDBY/ON ボタンを押して本機の電源を入れます。
- 5 テレビの入力を切り替えます。  
例えばAVアンプをテレビのビデオ入力2端子に接続したときは、テレビの入力切替でビデオ入力2を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。  
→ディスプレイが点灯し、本機の情報画面がテレビ画面に表示されます。

## オートスタンバイ機能

電力節約のため、15分以上操作しないと、自動的にスタンバイ(待機状態)になります。

## 基本の操作

- 1 本体の STANDBY/ON キーを押して電源を入れます。
- 2 本体の ▲ キーを押してトレイを開けます。
- 3 印刷面を上にしてディスクをセットします。
- 4 ▲ キーを押してトレイを閉めます。
  - トレイを閉めると自動的に再生をはじめめるディスクもあります。
  - トレイが開いた状態で PLAY キーを押すとトレイが閉まり自動的に再生をはじめめるディスクもあります。



### ご注意

- ・ 本機のディスクロック機能が設定されているときは 6桁のコードを入力しないと再生できません。詳しくは「ディスクロック」を参照してください。
- ・ DVD のリージョンコードが 2 または ALL 以外のディスクは再生できません。
- ・ メニュー画面が表れた場合は、15 ページ「ディスクメニューの操作」(DVD)または「プレイバックコントロールの操作」(VCD)をご覧ください。

## よく使う機能

以下の説明で本体とリモコンでキーの名称が違う場合は、リモコンの名称を使います。

### 再生の停止

再生中に STOP キーを押します。

- 停止した位置が記憶され、PLAY キーを押すと、停止位置から再生します(リジューム機能)。停止した状態でもう一度 STOP キーを押すとリジューム機能が解除されます。

### 一時停止とコマ送り

再生中に PAUSE キーを押します。

- PAUSE キーをもう一度押すと、次のフレームにコマ送ります。
  - CD は通常の再生に戻ります。
- 通常の再生に戻るには PLAY キーを押します。

### 頭出し(スキップ)

◀◀ キーを押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に、▶▶ キーを押すと次のチャプター/トラックの先頭にスキップします。ただし、2 秒以上キーを押し続けると早戻し/早送りになります。

- リモコンの数字キーでチャプター/トラックの番号を入力すると、そのチャプター/トラックを頭出しします。

### 早送り/早戻し

▶ キーを押すと早送り、◀ キーを押すと早戻しになります。

- キーを繰り返し押し続けると早送り/早戻しのスピードが変わります。
- PLAY キーを押すと通常の再生に戻ります。

### スロー再生

再生中に ▼ キーを押すと順方向に、または ▲ キーを押すと戻り方向にスロー再生します。

- キーを繰り返し押し続けるとスロー再生のスピードが変わります。
- PLAY キーを押すと通常の再生に戻ります。

#### ご注意

- ・ ビデオ CD とスーパービデオ CD は戻り方向にスロー再生できません。

### 一時的に音を消す

MUTE キーを押します。

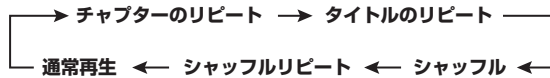
- もう一度 MUTE キーを押すと音が出ます。

# 再生する

## 繰り返し(リピート)/順不同(シャッフル)再生

### DVD

REPEAT キーを押すたびにリピート/シャッフル再生が次のように変わります。



### SVCD VCD CD

REPEAT キーを押すたびにリピート/シャッフル再生が次のように変わります。

- ビデオ CD はあらかじめプレイバックコントロールを解除してください。



### ご注意

- ・ リピート/シャッフル再生できないディスクもあります。

## A-B リピート DVD VCD SVCD CD

指定した箇所を繰り返し再生できます。

- 1 リピートを始めたい場所で A-B キーを押します。
- 2 リピートの終点にしたい場所で A-B キーを押します。  
→ A-B リピート再生が始まります。
  - DVD はタイトル内、CD とビデオ CD はトラック内の 2 点間を指定できます。
  - A-B キーをもう一度押すと通常再生に戻ります。

## ディスクリジューム機能 DVD VCD CD SVCD

停止した位置を記憶して、次回そこから再生を始める機能です。本機はディスク 5 枚分の停止位置を記憶できます。

- 1 ディスク(最近再生した 5 枚のうちの 1 枚)をトレイにセットします。
- 2 「ローディング」と表示している間に PLAY キーを押します。

## OSD 情報の画面表示

再生中のディスク情報と画像データの転送スピードが、テレビ画面上におおまかに表示されます。

- ON SCREEN キーを押します。  
→ ディスク情報がテレビ画面上に表示されます。

### タイトル/チャプター/トラックの選択

#### DVD VCD

- 1 ▲▼ キーで、「タイトル」または「チャプタ」(DVD)、「トラック」(ビデオ CD)を選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。

- 3 数字キーで、再生したいタイトル、チャプター、トラック番号を入力します。

### タイムサーチ DVD VCD

指定した経過時間の位置から再生できます。

- 1 ▲▼ キーで、「タイトル時間」または「チャプター時間」(DVD)、「トラック時間」(ビデオ CD)を選択します。  
→ 「タイトル時間」は再生中のタイトルの経過時間、「チャプター時間」は再生しているチャプターの経過時間です。
- 2 ENTER/OK キーを押します。
- 3 数字キーで、左から順に、時間:分:秒を入力します。(例: 0:34:27)

### 音声/字幕/アングルの選択 DVD

ディスクに収録されている音声、字幕、アングルを切り替えます。

- 1 ▲▼ キーで、「音声言語設定」、「字幕言語設定」、「アングル」のいずれかを選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。
- 3 音声と字幕は ▲▼ キーで選択して ENTER/OK キーを押します。アングルは数字キーで選択します。

### リピート/時間表示 DVD VCD

- 1 ▲▼ キーを押して「リピート」か「時間表示」を選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。
- 3 ▲▼ キーでお好みの設定を選択し、ENTER/OK キーを押します。

### 時間表示 CD

ON SCREEN キーを押すたびに、表示が次のように変わります。



## ズーム DVD VCD SVCD

映像を部分的に拡大、縮小します。

- 1 ZOOM キーを押します。  
→ 再生はそのまま続きます。  
→ 一時停止中でもズーム機能は働きます。
- 2 ▲▼◀▶ キーで拡大、縮小したい部分を移動できます。
- 3 ZOOM キーを繰り返し押して元のサイズに戻します。

## DVD を楽しみましょう

### ディスクメニューの操作

再生中にメニュー画面を呼び出して好みのタイトル、チャプターの頭出しや、音声、字幕などを切り替えができます。

- 1 **TOP MENU キーを押します。**  
→ ディスクの最初のメニュー画面が表示されます。
- 2 **数字キーか ▲▼ キーでお好みの項目を選択します。**
- 3 **ENTER/OK キーを押します。**  
→ 音声、字幕は再生中にリモコンのボタンを使って切り替える方法もあります。

### アングルの選択

同時に複数のアングルから撮影したシーンを収録しているディスクの再生中に、お好みのアングルを選択することができます。

ANGLE キーを押します。

### 音声言語／フォーマットの選択

複数の言語または音声フォーマットを収録しているディスクの再生中に、音声言語やフォーマットを選択することができます。

AUDIO キーを押します。

### 字幕の選択

字幕を入／切したり、複数言語の字幕を収録しているディスクで言語を選択することができます。

SUBTITLE キーを押します。

## ビデオ CD、スーパービデオ CD を楽しみましょう

### プレイバックコントロールの操作

プレイバックコントロール(PBC)機能のあるビデオ CD は、再生を始めると自動的にメニュー画面が表示され、見たい場面や情報を選ぶことができます。再生中にメニュー画面を表示するには TOP MENU/RETURN キーを押します。

- 1 **▲▼◀▶ キーや数字キーで項目を選択します。**  
→ メニュー画面が2ページ以上ある場合は、▶▶|キーを押すと次のページへ、|◀◀キーを押すと前のページへ移動します。また TOP MENU/RETURN キーを押すと最初の画面に戻ります。
- 2 **ENTER/OK キーを押します。**  
メニュー画面を消して再生を始めたいときは MENU キーを押して PBC を解除します。

#### ご注意

- ・ ディスクによっては上記のとおり動作しないことがあります。

### 音声チャンネルの切り替え

スーパービデオ CD は 2 種類のステレオ音声収録でき、カラオケや別の言語が選択できるディスクがあります。

- **AUDIO キーを押して音声を選択します。**  
ビデオ CD の場合ステレオ音声は 1 種類のみですが、下記のように音声チャンネルの切り替えができます。
  - **AUDIO キーを押すたびに下記の順番で変わります。**  
ステレオ → LEFT MONO → RIGHT MONO → MIX-MONO
- ステレオ ..... 左チャンネルの音声を AUDIO L 端子から、右チャンネルの音声を AUDIO R 端子から出力します。
- MONO LEFT ..... 左チャンネルの音声のみを AUDIO L/R 端子から出力します。
- MONO RIGHT ..... 右チャンネルの音声のみを AUDIO L/R 端子から出力します。
- MIX-MONO ..... 左右両チャンネルの音声を AUDIO L/R 端子から出力します。

# 再生する

## プレビュー機能

見たい場面を探せる機能です。

- 1 **SCAN** キーを押します。  
→プレビューのメニュー画面が表示されます。
- 2 **▲▼** キーを使ってプレビューの種類(「トラックダイジェスト」、「ディスクインターバル」、「トラックインターバル」)を選択します。
- 3 **ENTER/OK** キーを押します。  
→選択した種類のプレビュー画面が表示されます。

ダイジェストタイプ選択:

トラックダイジェスト  
ディスクインターバル  
トラックインターバル

- プレビュー画面から出たいときは、**▲▼◀▶** キーで「終了」を選び、**ENTER/OK** キーを押します。
- 他のプレビューの種類を選択したいときは、**▲▼** キーで **MENU** を選び、**ENTER/OK** キーを押します。

### トラックダイジェスト

一度に 6 トラックが表示され、見たいトラックを探せます。

→次の 6 トラックを見るときは **▶▶|** キーを、前の 6 トラックを見るときは **|◀◀** キーを押します。



- 1 **▲▼◀▶** キーで「選択」の隣をハイライトさせます。
- 2 見たいトラックの数字を入力します。
- 3 **ENTER/OK** キーを押します。
  - **▲▼◀▶** キーで直接プレビューを選択してから **ENTER/OK** を押しても再生が始まります。

### ディスクインターバル

ディスク全体の総時間を 6 等分して表示します。ディスク全体から見たい場面を探せます。



- 1 **▲▼◀▶** キーで「選択」の隣をハイライトさせます。
- 2 見たいトラックの数字を入力します。
- 3 **ENTER/OK** キーを押します。
  - **▲▼◀▶** キーで直接プレビューを選択してから **ENTER/OK** を押しても再生が始まります。

### トラックインターバル

1 つのトラックを 6 つに分けて表示します。トラック内で見たい場面を探せます。



- 1 **▲▼◀▶** キーで「選択」の隣をハイライトさせます。
- 2 見たいトラックの数字を入力します。
- 3 **ENTER/OK** キーを押します。
  - **▲▼◀▶** キーで直接プレビューを選択してから **ENTER/OK** を押しても再生が始まります。

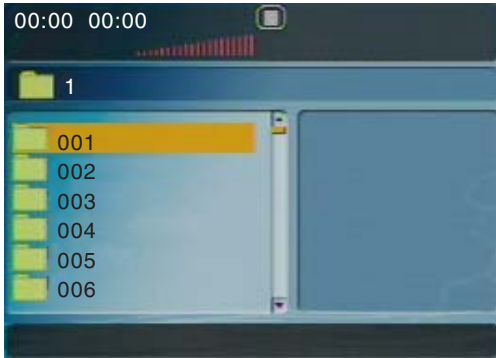


# 画像や MP3 ファイルを再生する

本機は CD-R/CD-RW に収録された JPEG 画像や MP3 ファイルに対応しており、画像ファイルと音声ファイルを同時に再生できます。またコダックピクチャーCD の再生にも対応しています。

## 基本の操作


セットアップメニューで「メニューあり」を選択すると、JPEG CD/MP3 CD メニューが表示されます。下記 MP3&JPEG ナビゲーターをご参照ください。



- JPEG 再生中に MENU キーを押すとメニュー画面に戻ります。
- 選択したフォルダーを開くには ENTER/OK キーを押します。
- メニュー画面 1 ページに 6 つのファイルやフォルダーを表示します。次のページに映るには ▶▶| キーを、前のページに戻るには |◀◀ キーを押してください。
- ファイルを選択して ENTER/OK キーを押すと再生が始まります。
- 本機は以下の MP3 ファイルをサポートしています。  
ファイル数/フォルダ数: 1 階層に計 500 まで  
ネスティング数(階層): 8 階層まで  
マルチセッション: 対応(再生可能)  
再生可能拡張子: MP3、JPG、JPE、JPEG  
ファイル名: 半角 13 文字まで  
(日本語非対応)
- プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

## MP3&JPEG ナビゲーター

MP3&JPEG ナビゲーターのメニューを使うと、いろいろな再生方法を選択できます。下記の手順で設定してください。

- 1 停止中に SETUP キーを押してセットアップメニューを表示させます。
- 2 ◀▶ キーで  を選択します。
- 3 ▼ キーを押して環境設定ページを開きます。
- 4 ▲▼ キーで「MP3/JPG ナビ」を選択します。
- 5 ▶ キーを押して「MP3/JPG ナビ」設定に入ります。
- 6 ▲▼ キーで「メニューなし」または「メニューあり」を選択します。
  - 「メニューなし」:自動的に全てのファイルを再生します(MP3 のみ)。
  - 「メニューあり」:選択したフォルダー内のファイルを再生します。
- 7 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。

## 再生モード

### 自動再生

「メニューなし」を選択している場合は、ディスクをセットすると自動的に再生を始めます(MP3 のみ)。

### リピート/シャッフル

- JPEG CD / MP3 CD メニューが表示されているときに REPEAT キーを繰り返し押すと、画面下の表示が次のようになります。
  - シングルリピート:1 つのファイルをくり返し再生します。
  - フォルダーリピート:フォルダー内の全ファイルを繰り返し再生します。
  - シャッフル:フォルダー内の全ファイルを順不同に再生します。
  - フォルダー:フォルダーの中の全ファイルを再生します。
- 再生中に REPEAT キーを押すと画面上にプレイモードが表示されます。
- シャッフル再生中は |◀◀/▶▶| キーで頭出しができません。

# 画像や MP3 ファイルを再生する

## JPEG の再生

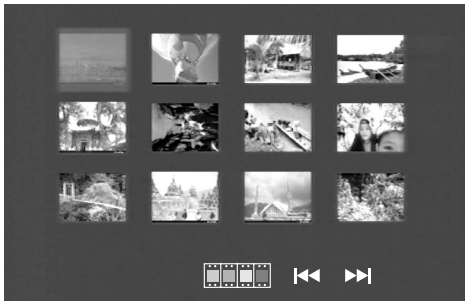
JPEG CD は JPEG フォーマットの画像を集めたものです。全てのファイル名の拡張子が“JPG”になっていることを確認してください。デジタルカメラやスキャナーなどから取り込んだ画像をコンピューターで CD に記録したものを本機で再生できます。本機では再生以外に下記の操作ができます。

- 一度に 12 枚の画像を表示する (プレビュー機能)
- 画像をズームする
- 画像を回転させる
- 画像の切り替え効果を選択できる

## プレビュー機能

フォルダーやディスク全体の内容を表示します。

- 1 JPEG 画像の再生中に STOP キーを押すと、画面に 12 枚の画像が表示されます。



→ 画像が 12 枚以上ある場合、次のプレビュー画面を見るときは ▶▶| キーを、前の画面を見るときは |◀◀ キーを押します。

- 2 ▲▼◀▶ キーでお好みの画像を選択し ENTER/OK キーを押して再生を始めます。ページ下の ◻◻◻◻◻◻ を選択するとページの始めの画像から再生を始めます。
- 3 MENU を押すと JPEG CD / MP3 CD メニューに入ります。

## 画像のズーム

- 再生中または一時停止中に ZOOM キーを押します。
- ▲▼◀▶ キーで拡大したい部分を移動できます。

## 画像の回転

再生中または一時停止中に、▲▼◀▶ キーで画像を回転できます。

- ▲: 画像を垂直に反転します。
- ▼: 画像を水平に反転します。
- ◀: 画像を反時計回りに回転します。
- ▶: 画像を時計回りに回転します。

## 画像の切り替え効果

ANGLE キーを押すたびに、切り替え効果を変更できます。

## JPEG と MP3 の同時再生

- 1 最初に MP3 ファイルを再生します。
- 2 MP3 再生中に画像を選んで再生します。  
→ MP3 の音声再生はそのまま続き画像が順に切り替わります。

MENU キーを押すと画像再生が終わりメニュー画面に戻ります。STOP キーを押して MP3 の再生を停止します。

### ご注意

- ・ JPEG と MP3 の同時再生中は |◀◀ キーまたは ▶▶| キーで MP3 を操作することはできません。

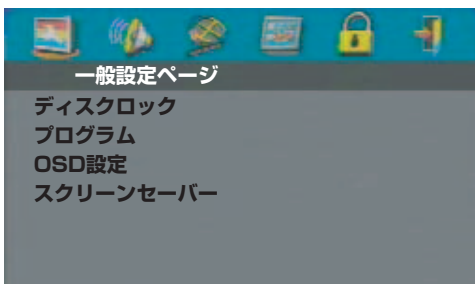
本機の初期設定をお好みにあわせて変更したり、便利な機能を設定できます。


## 設定のしかた

- 1 停止中に SETUP キーを押してセットアップメニューに入ります。
- 2 ◀▶ キーで設定したいカテゴリ(個別のメニュー)を選択し、▼ キーを押してそのメニューページに入ります。  
(複数の設定項目がある場合)
- 3 ▲▼ キーで変更したい設定項目を選択し、▶ キーを押して設定の選択に移動します。  
→ 選択項目の背景が赤から緑に変わります。
- 4 ▲▼ キーでお好みの設定を選択します。
- 5 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。  
→ 選択された設定の背景が緑から赤に変わります。
- 6 SETUP キーをもう押すとセットアップメニュー画面が消えます。  
→ 設定完了です。電源を切っても設定は保存されます。

## 一般設定メニュー

「ディスクロック」、「プログラム」、「OSD 言語」、「スクリーンセーバー」の各項目を設定します。



◀▶ キーで  を選択し、▼ キーを押して一般設定ページに入ります。

### ディスクロック

ディスクごとに視聴制限をかけることができます。ロックしたディスクは、暗証番号を入力しなければ再生されません。

- 1 ▲▼ キーで「ディスクロック」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→ ロック: ディスクをロックします。  
→ ロック解除: ディスクロックを解除します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して一般設定ページへ戻ります。

### プログラム(JPEG / MP3 CDを除く)

- 1 ▲▼ キーで「プログラム」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して「入力メニュー」をハイライトし、ENTER/OK キーを押します。  
→ プログラム設定画面が表示されます。



### プログラムの入力

- 1 ▲▼◀▶ キーでプログラムの順番を選択します。
- 2 数字キーでプログラムしたいトラック番号を入力します。  
→ DVD の場合は、まず TT にタイトル番号を入力し、次に ▶ キーで CH に移動してチャプター番号を入力します。  
→ 10 トラック以上プログラムする場合は、▶▶▶ キーを押すか、▲▼◀▶ キーで「次へ」を選択してから ENTER/OK キーを押して次のページを表示します。
- 3 続けて選ぶには手順 1、2 を繰り返します。

#### ご注意

- ・ プログラムを選択した状態で PLAY キーか ENTER/OK キーを押すと、入力番号が解除されません。

### プログラムの削除

- 1 ▲▼◀▶ キーで削除したいプログラムを選択します。
- 2 ENTER/OK キーまたは PLAY キーを押します。

### プログラムの再生

- 1 ▲▼◀▶ キーで「開始」を選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。

### プログラムメニューの終了

- 1 ▲▼◀▶ キーで「終了」を選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。  
→ プログラムメニュー画面が消えます。

### プログラム再生の停止

- 再生中に STOP キーを押します。  
→ PLAY キーを押すと、リジューム機能により停止した場所から始まります。  
リジューム機能を停止させるにはプログラム再生中に STOP キーを 2 回押します。

# セットアップメニュー

## プログラム再生のリピート

プログラム再生中に REPEAT キーを押すと、プログラムの順番を繰り返し再生できます。

### ご注意

- ・ REPEAT キーを数回押してシャッフルモードになると、プログラム再生はキャンセルされます。

## OSD 言語

セットアップメニューや OSD で表示する言語を変更できます。

- 1 ▲▼ キーで「OSD 言語」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで言語を選択します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して一般設定ページへ戻ります。

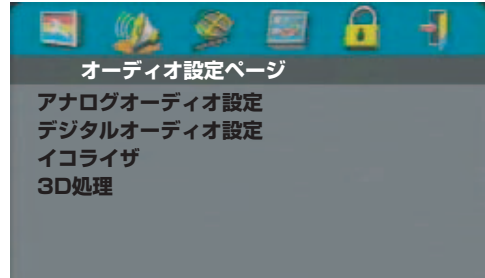
## スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの ON/OFF を設定します。

- 1 ▲▼ キーで「スクリーンセーバー」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
  - ON: 再生停止や一時停止して何も操作しない状態で 5～6 分経過すると画面がスクリーンセーバーに変わります。
  - OFF: 上記の状態でもスクリーンセーバーにはなりません。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して一般設定ページへ戻ります。

## オーディオ設定メニュー

「アナログオーディオ」、「デジタルオーディオ設定」、「イコライザ」、「3D 処理」の各項目を設定します。



◀▶ キーで を選択し、▼ キーを押して音声設定ページに入ります。

## アナログオーディオ設定

本機のアナログ(AUDIO L/R)端子から出力される音声信号をお好みで調節できます。

### ダウンミックス

- 1 ▲▼ キーで「ダウンミックス」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
  - LT/RT: 本機がドルビープロロジックデコーダー搭載の AV アンプなどに接続されているときはこの設定を選択します。
  - ステレオ: ドルビーデジタル信号をアナログのステレオ信号にダウンミックスして、本機のアナログ L/R 端子から出力します。
  - 3D サラウンド: サラウンドスピーカーを使用せず、疑似的にサラウンドチャンネルを再現します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

### D.R.C (ダイナミックレンジの調節)

D.R.C(ダイナミックレンジコンプレッション)とは音声の強弱の幅を狭めることで、大きい音を小さめに、小さい音を大きめに再生します。深夜に映画を見るときなどに便利です。

- 1 ▲▼ キーで「D.R.C」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
  - ON: 爆発音などの大音量が抑えられ、セリフなどが聞きやすくなります。
  - OFF: 映画などの音の強弱がそのまま再生され、臨場感を楽しめます。
- 3 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

## デジタルオーディオ設定

本機のデジタル(光、同軸)端子から出力される音声信号をお好みで調節できます。

### デジタル出力

- 1 ▲▼ キーで「デジタル出力」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
  - デジタル出力 ALL: ディスクに入っているデジタル信号をそのまま出力します。
  - PCM ONLY: ドルビーデジタル信号を PCM 方式に変換してから出力します。本機に接続されている AV アンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、この設定を選択してください。この機能は DTS には対応していません。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

### LPCM 出力

出力するリア PCM 信号のサンプリング周波数を選択します。

- 1 ▲▼ キーで「LPCM 出力」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
  - 48K: サンプリング周波数が 96kHz で収録されているディスクのデジタル信号を、48kHz に変換して出力します。
  - 96K: 96kHz のまま出力します。もし、著作権保護のためディスクに 96kHz の高音質信号の出力を防止する処理がされていると、音声は出力されません。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

## イコライザ(サウンドモード)

お聞きになる音楽の種類にあわせて、周波数帯域を最適化したモードを選択できます。

- 1 ▲▼ キーで「イコライザ」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して「サウンドモード」に移動します。
- 3 もう一度 ▶ キーを押してモードの選択に移動します。
- 4 ▲▼ キーでモードを選択します。
  - OFF: ディスクに収録された状態のまま再生します。
- 5 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 6 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

### ご注意

・再生されるディスクの内容と選択されたモードの組み合わせによっては、音がはずんだように聞こえる場合があります。この場合には OFF か他のモードを選択してください。

## 3D 処理(リバースモード)

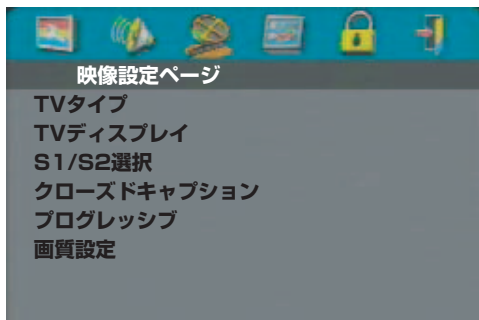
エコーや周波数特性をそれぞれの場所に固有な特性に合わせることで、その場にいるような感覚を味わうことができます。選択項目は「OFF、コンサート、リビング、ホール、アリーナ、教会」です。


- 1 ▲▼ キーで「3D 処理」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して「リバースモード」に移動します。
- 3 もう一度 ▶ キーを押してモードの選択に移動します。
- 4 ▲▼ キーでモードを選択します。
  - OFF: ディスクに収録された状態のまま再生します。
- 5 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 6 ◀ キーを押して音声設定ページへ戻ります。

# セットアップメニュー

## 映像設定メニュー

「TV タイプ」、「TV ディスプレイ」、「S1/S2 選択」、「クローズドキャプション」、「プログレッシブ」、「画質設定」の各項目を設定します。



◀▶ キーで  を選択し、▼ キーを押して映像設定ページに入ります。

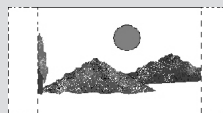
### TV タイプ

本機から出力する映像信号方式 (NTSC、PAL または MULTI) の設定を変更できます。日本国内の映像信号方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビで映像を再生するなど特殊な場合を除いて初期設定の NTSC を変更する必要はありません。

- 1 ▲▼ キーで「TV タイプ」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。  
→ 「NTSC」を選択すると PAL 方式で収録されたディスクの映像信号を NTSC に変換、「PAL」を選択すると NTSC のディスクを PAL に変換して出力します。「マルチ」を選択するとディスクに収録されたおりの信号を出力します。
- 4 ◀ キーを押して映像設定ページへ戻ります。

## TV ディスプレイ

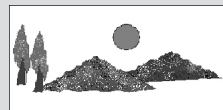
4:3  
バンスキャン



4:3  
レターボックス



16:9  
ワイド



ご使用になるテレビのサイズにあわせて設定を変更してください。

- 1 ▲▼ キーで「TV ディスプレイ」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→ 4:3 バンスキャン: ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると縦は画面いっぱい、横は左右がカットされた状態で見えます。  
→ 4:3 レターボックス: ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると画面上下に帯が入った状態で見えます。  
→ 16:9 ワイド: ワイドテレビをご使用の場合に選択してください。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して映像設定ページへ戻ります。

### S1/S2 選択

本機の S 映像出力端子は、S1 機能 (4:3 に圧縮されたワイドソフトを自動的に 16:9 のサイズに戻して再生) と S2 機能 (S1 に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱい再生) に対応しております。ご使用になるテレビの S ビデオ入力端子にあわせて設定を変更してください。

- 1 ▲▼ キーで「S1/S2 選択」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→ S1: S または S1 ビデオ入力端子に接続するとき選択してください。  
→ S2: S2 ビデオ入力端子に接続するとき選択してください。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して映像設定ページへ戻ります。

## クローズドキャプション

クローズドキャプションとは、音声聞き取れなくても音による情報を理解できるように、会話や情景などを字幕にして表示させるシステムです。ディスクとテレビが共にクローズドキャプションに対応している場合のみ使用できます。

- 1 ▲▼ キーで「クローズドキャプション」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→ ON: CLOSED CAPTION を表示します。  
→ OFF: CLOSED CAPTION を表示しません。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して映像設定ページへ戻ります。

## プログレッシブ

本機の COMPONENT VIDEO (Y、PB/CB、PR/BR および D1/D2) 端子はプログレッシブ信号を出力できます。プログレッシブ対応のテレビで再生することで、高密度でちらつきの少ない高品質な画質が楽しめます。

- 1 ▲▼ キーで「プログレッシブ」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→ ON: プログレッシブ出力します。  
→ OFF: プログレッシブ出力しません。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して映像設定ページへ戻ります。

### ご注意

- テレビ側もプログレッシブ対応しているかご確認ください。
- コンポーネントビデオか D 端子を接続してください。「プログレッシブ」が ON のとき、これら以外の映像出力端子から信号は出なくなります。
- もし映像が出なくなったら、オートリカバー機能で映像が出るようになるのを待つ(15 秒程かかります)か、下記の方法で設定を OFF にしてください。

- 1 本体の ▲ キーを押してトレイを開けます。
- 2 リモコンの ◀ キーを押します。
- 3 MUTE キーを押します。

一部のプログレッシブ(525P および 625p) 入力対応のテレビ(モニター)は本機と完全な互換がとれていないため、プログレッシブ再生時に画像に乱れが生じる場合があります。

その場合には、プログレッシブ機能をオフにして再生するか、本機と互換がある機器をご使用ください。

なお、本機と互換があるヤマハの機器は下記のとおりです。DPX-1 (525P のみ)、LPX-500、DPX-1000 互換性についてご質問のある場合は当社のお客様ご相談センター(0570-01-1808)へお問い合わせください。

## 画質設定

「明るさ」、「コントラスト」、「色彩」、「カラー」の画質調整ができます。

- 1 ▲▼ キーで「画質設定」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して画質設定メニュー(調整項目の選択画面)に移動します。

### 明るさ

- 1 ▲▼ キーで「明るさ」を選択します。
- 2 ▶ キーを押すと調整画面が表示されます。



明るさ |||..... -1

- 3 ◀▶ キーで「明るさ」を調整します。
- 4 ENTER/OK キーを押します。

### コントラスト

- 1 ▲▼ キーで「コントラスト」を選択します。
- 2 ▶ キーを押すと調整画面が表示されます。
- 3 ◀▶ キーでコントラストを調整します。
- 4 ENTER/OK キーを押します。

### 色彩

- 1 ▲▼ キーで「色彩」を選択します。
- 2 ▶ キーを押すと調整画面が表示されます。
- 3 ◀▶ キーで色彩を調整します。
- 4 ENTER/OK キーを押します。

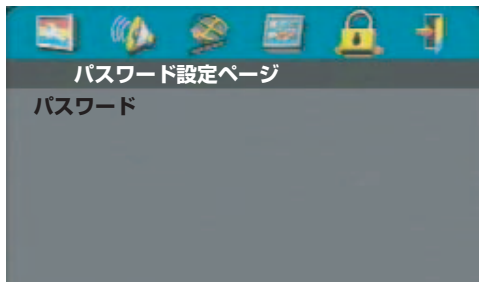
### カラー


- 1 ▲▼ キーで「カラー」を選択します。
- 2 ▶ キーを押すと調整画面が表示されます。
- 3 ◀▶ キーでカラーを調整します。
- 4 ENTER/OK キーを押します。

# セットアップメニュー

## パスワード設定メニュー

「ディスクロック」と「視聴制限」で使用する 6 桁の暗証番号を設定します。



- 1 ◀▶ キーで  を選択します。
- 2 ▼ キーを押して「パスワード」に移動します。
- 3 ▶ キーを押して「変更」に移動します。
- 4 ENTER/OK キーを押して PASSWORD CHANGE ページを開きます。



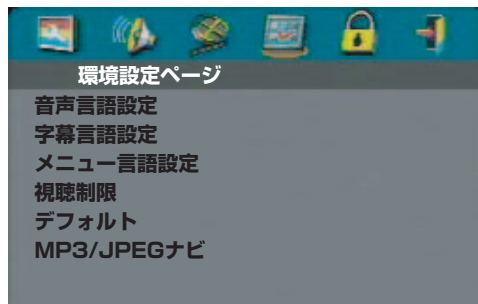
- 5 画面の指示に従って、数字キーで暗証番号を入力します。  
→すでに一度設定した暗証番号を変更する場合は、「古いパスワード」ボックスに現在の暗証番号を入力します。その番号が正しければ新しい暗証番号を入力できます。
- 6 確認のためもう一度入力します。
- 7 ENTER/OK キーを押して元のページへ戻ります。


### ご注意

- ・暗証番号を忘れてしまったときは工場出荷時の番号 (842100) を入力してから、新しい暗証番号を設定してください。

## 環境設定メニュー

「音声言語設定」、「字幕言語設定」、「メニュー言語設定」、「視聴制限」、「デフォルト」、「MP3/JPEG ナビ」の各項目を設定します。



- 1 STOP キーを二度押します。
- 2 SETUP キーを押します。
- 3 ◀▶ キーで  を選択します。
- 4 ▼ キーを押して環境設定ページに入ります。

### 音声言語設定

DVD には 2 種類以上の音声言語が収録されていることがあります。ここでは優先したい音声言語を設定できます。

- 1 ▲▼ キーで「音声言語設定」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して設定の選択に移動し、▲▼ キーでお聞きになりたい言語を選択します。  
→選択肢にない言語を設定したいときは、「その他の言語を設定するには」をご覧ください。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して環境設定ページへ戻ります。

### ご注意

- ・「音声言語設定」で設定した言語が収録されていないディスクもあります。その場合は他の言語で再生します。

### 字幕言語設定

DVD には 2 種類以上の言語の字幕が収録されていることがあります。ここでは優先したい字幕言語を設定できます。

- 1 ▲▼ キーで「字幕言語設定」を選択します。
- 2 ▶ キーを押して字幕言語の選択に移動し、▲▼ キーで設定を選択します。  
→選択肢にない言語を設定したいときは、「その他の言語を設定するには」をご覧ください。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀ キーを押して環境設定ページへ戻ります。

### ご注意

- ・「字幕言語設定」で設定した言語が収録されていないディスクもあります。その場合は他の言語で再生します。



## メニュー言語設定

DVDには2種類以上の言語のディスクメニューが収録されていることがあります。ここでは優先したいディスクメニュー言語を設定できます。

- 1 ▲▼キーで「メニュー言語設定」を選択します。
- 2 ▶キーを押してメニュー言語の選択に移動し、▲▼キーで設定を選択します。  
→ 選択肢にない言語を設定したいときは、「その他の言語を設定するには」をご覧ください。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀キーを押して環境設定ページへ戻ります。

### ご注意

・ 「メニュー言語設定」で設定した言語が収録されていないディスクもあります。その場合は他の言語で表示します。

## その他の言語を設定するには

下記の方法で、選択肢にない言語を設定することができます。

- 1 ▲▼キーで「その他」を選択します。
- 2 ENTER/OK キーを押します。  
→ 言語コードの入力画面が表示されます。
- 3 数字キーで4桁の言語コードを入力します。  
→ 巻末の「言語コード一覧」をご覧ください。
- 4 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。

## 視聴制限

視聴制限のレベルを設けたDVD(ディスクのジャケットなどに表示があります)では、お子さまが視聴するのに適さないシーンに視聴制限をかけることができます。8段階のレベル設定があります。

- 1 ▲▼キーで「視聴制限」を選択します。
- 2 ▶キーを押してレベルの設定に移動し、▲▼キーでレベルを設定します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。
- 4 ◀キーを押して環境設定ページへ戻ります。

## 視聴制限を無効に設定するには

手順2で「レベル8」を選択します。

## レベル1 - 7について

数値が小さいほど視聴制限は厳しくなります。例えばレベル5に設定した状態でレベル6のディスクを再生しようとするすると暗証番号入力画面になります。シーンごとにレベル設定されているディスクならば、そのシーンをとばすか、代替シーンが収録されていればそれを再生することもできます。

### ご注意

・ ビデオCDや海賊版DVDに視聴制限をかけることはできません。

## デフォルト

パスワードと視聴制限を除く、すべてのセットアップメニューの設定を工場出荷時の初期値に戻します。

- 1 ▲▼キーで「デフォルト」を選択します。
- 2 ▶キーを押して設定の選択に移動します。
- 3 ▶キーを押して「リセット」に移動します。
- 4 ENTER/OK キーを押します。  
→ パスワード及び視聴制限の設定は保存されます。

## MP3/JPEG ナビ

CD-R/CD-RWに収録されたJPEG画像やMP3ファイルを再生するときに、再生方法の操作画面を表示するかしないかを設定できます。

- 1 ▲▼キーで「MP3/JPEG ナビ」を選択します。
- 2 ▶キーを押して設定の選択に移動し、▲▼キーで設定を選択します。  
→ **メニューなし**: 操作画面を表示せず、すべてのファイルを自動的に再生します。  
→ **メニューあり**: 操作画面を表示し、お好みのファイルを選んで再生します。
- 3 ENTER/OK キーを押して選択を決定します。

# 故障かな?と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	解決方法
電源が入らない	— 電源プラグがしっかりと差し込んであるかご確認ください。
映像が出ない	— テレビのスイッチが入っているかご確認ください。 — 映像端子の接続をご確認ください。 — 本機の COMPONENT VIDEO(Y, PB/CB, PR/BR および D1/D2) 端子を接続していない状態で映像が出なくなったら、下記の操作をしてください。 1. 本体の▲キーを押してトレイを開けます。 2. リモコンの◀キーを押します。 3. リモコンのMUTEキーを押します。
映像が歪む	— ディスクに汚れがある場合は拭いてください。 — 歪みがひどい、または白黒になる場合は、NTSC/PAL の設定がお使いのテレビとあっているかご確認ください。(TV タイプ参照)
音が出ない、または歪む	— 接続したアンプやテレビのボリュームを調節してください。 — スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。
デジタル端子から出力される音声信号が再生されない	— デジタル端子の接続をご確認ください。 — お使いのアンプが、選択している音声フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合は音声フォーマットを切り替えるか、音声設定メニューの「デジタル出力」をPCM ONLYに設定してください。
ディスクが再生できない	— DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW の各ディスクはレコーダーでファイナライズしなければ再生できません。 — ディスクのラベル面が上になっているかご確認ください。 — ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを再生してみてください。 — 画像やMP3を収録したディスクの場合、少なくとも6～10枚の画像か3～5曲のトラックが記録されているかご確認ください。
ディスクを取り出しても初期画面(DVD VIDEOとYAMAHAロゴ)に戻らない	— 本機の電源を一度切ってから再度電源を入れてください。
本機がリモコンに反応しない	— 本機正面のセンサーに向けてください。 — 距離を近づけてみてください。 — 電池を交換してください。 — 電池の方向が正しいかご確認ください。
キーが働かない	— 本機をリセットするために電源コードを一度抜いてから再度電源を入れてください。
再生中に操作できない機能がある	— ディスクによって操作できない機能があります。ディスクのジャケット等にある説明もご覧ください。
MP3を録音することができない	— SCMS(コピープロテクト)対応の曲はデジタル録音することができません。アナログ端子を使って録音してください。

## 対応ディスク

DVD ビデオ  
 ビデオ CD、スーパービデオ CD  
 CD  
 ピクチャーCD  
 CD-R、CD-RW  
 DVD+R、DVD+RW  
 DVD-R、DVD-RW

## ビデオ部

### 出力信号

ビデオ 1 Vpp(75Ω)  
 Sビデオ Y: 1 Vpp(75Ω)  
 C: 0.3 Vpp(75Ω)  
 コンポーネントビデオ  
 Y: 1 Vpp(75Ω)  
 Pb/Cb Pr/Cr: 0.7 Vpp(75Ω)  
 D1/D2 Y: 1 Vpp(75Ω)  
 Pb/Cb Pr/Cr: 0.7 Vpp(75Ω)

## オーディオフォーマット

ドルビーデジタル、DTS 出力  
 PCM 16, 20, 24 ビット  
 サンプリング周波数 44.1, 48, 96 kHz  
 MP3 24, 32, 56, 64, 96, 128, 256 kbps  
 サンプリング周波数 16, 22.05, 24, 32,  
 44.1, 48 kHz

アナログステレオ出力

## オーディオ特性

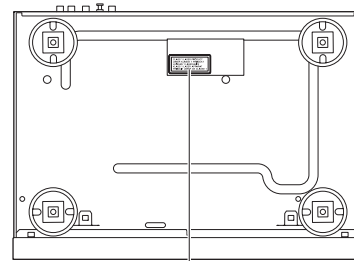
DA コンバーター	24 ビット
S/N 比(1kHz)	105dB
ダイナミックレンジ(1kHz)	100dB
DVD サンプリング周波数 96kHz	2Hz ~ 44kHz
サンプリング周波数 48kHz	2Hz ~ 22kHz
SVCD サンプリング周波数 48kHz	2Hz ~ 22kHz
サンプリング周波数 44.1kHz	2Hz ~ 20kHz
CD/VCD サンプリング周波数 44.1kHz	2Hz ~ 20kHz
全高調波歪率(1kHz)	0.003%

## レーザー

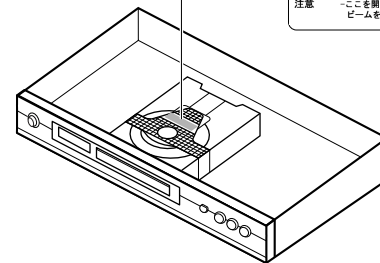
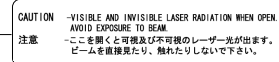
タイプ 半導体レーザー GaAlAs  
 波長 650nm(DVD)  
 780nm(VCD/CD)  
 出力 7mW(DVD)  
 10mW(VCD/CD)  
 ビーム広がり 60度

### ご注意

- この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は有害な放射を引き起こす可能性があります。



クラス1レーザー製品



## 総合

寸方(幅 x 奥行き x 高さ)	435 x 315 x 55 mm
質量	約 3.0 Kg
電源電圧/周波数	100V、50/60Hz
消費電力	約 12W
待機時消費電力	1W 以下

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 言語コード一覧

Sango	8371
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アフガル	6565
アフリカーンス	6570
アブバジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イスピアク	7375
イタリア	7384
イディッシュ	8973
インターリングア	7369
インターリングア	7365
インドネシア	7368
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
オロモ	7977
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
カナダ	7578
カンボジア	7577
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
キニャルワンダ	8287
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565

ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7486
スウェーデン	8386
スペイン ; Castilian	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ツォンガ	8483
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7866
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
バシュト	8083

パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビスラマ	6673
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
プロバンス	7967
ヘブライ	7269
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バンガラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンズ	8277
ロシア	8285
ヴォラビュック	8679

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**  
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
  - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
  - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**  
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**  
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**  
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**  
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。  
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。  
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

## ■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

### お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

-----  
携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3489

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

## ■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F  
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内  
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F  
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16  
ヤマハ(株)千里丘センター内  
TEL (06) 6877 - 5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7  
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内  
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



### ★永年ご使用のAV製品の点検を!

#### こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

